

はじめに

平成16年7月5日から8日までの4日間、シンガポール・サンテックインターナショナル・コンベンション&エキシビジョンセンターにおいて第2回アジア太平洋地域水文水資源国際会議（APHW2004）が開催された。APHW2004では8つの特別セッションが開催され、国土技術政策総合研究所河川研究部もそのうちのひとつとして前回のAPHW2003に引き続き、NILIMセッションを主催した。本資料はNILIMセッションの概要について取りまとめたものである。

今回のNILIMセッションでは、アジアモンスーン地域諸国の水問題と、これに対する対策として進められている水制度の紹介を行い、アジアモンスーン地域諸国の共通の処方箋として活用できる情報の共有化のためのツールボックスとされることを想定し、アジア5ヶ国から7名の参加者を招聘し各国における水管理についての法制度について議論を行った。海外の都市に7名という数多くの外国の専門家を一度に招聘して開催するという、国土技術政策総合研究所にとっては、これまであまり経験したことのないやり方で行ったため苦労した点も多くあったが、その成果としてセッションでの議論を通じ、それぞれ地域ごとに異なった特徴的で重要な課題があるという認識を新たに共有することができた。なお、本セッションは文部科学省科学技術振興調整費（水災害の監視・予測・軽減への貢献：代表 京都大学防災研究所 寶 馨教授）によって開催されました。また、関係国のJICA専門家には外国の専門家の招聘にあたり多大な協力をいただいた。ここに記して謝意を表します。

